

### 1 - 3 北海道東部の水平地殻変動

#### Horizontal Movement in the Eastern Part of Hokkaido

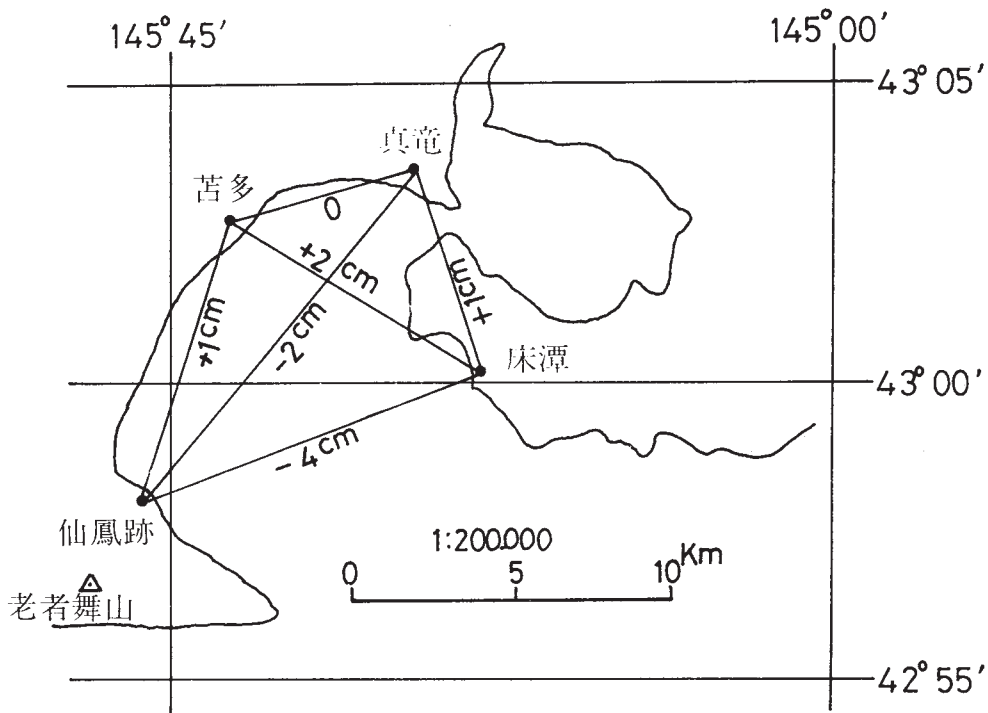
国土地理院，地殻活動調査室，測地部  
Crustal Activity Research Office  
and Geodetic Division,  
Geographical Survey Institute

厚岸菱形基線は厚岸湾をまたぐ位置に1971年6月に設置され、1971年7月に第1回の、1972年7月に第2回の測定が行なわれた。第1図に各辺長の変化を示す。

1972年北海道東部でGDP計画の一環として高精度トラバース測量が行なわれ、明治成果との比較はすでに本会報<sup>1)</sup>に報告されている。このふきんは1907年と1967年に第1回および第2回の一等三角測量が行なわれているので、老若舞山～辺寒台および辺寒台～仁井田山の辺長変化を第2図に示す。2つの辺ともこの5年間に8cm伸びているように見えるが、1967年の一等三角測量に長さを与えるべき辺長が、ジオジメーター2型による深夜測定のため、ジオジメーター8型の夕刻測定による1972年の結果に比べて系統的に短かく測定されている可能性があり、上記の8cmの差が有意かどうかははっきりとは断定できない。

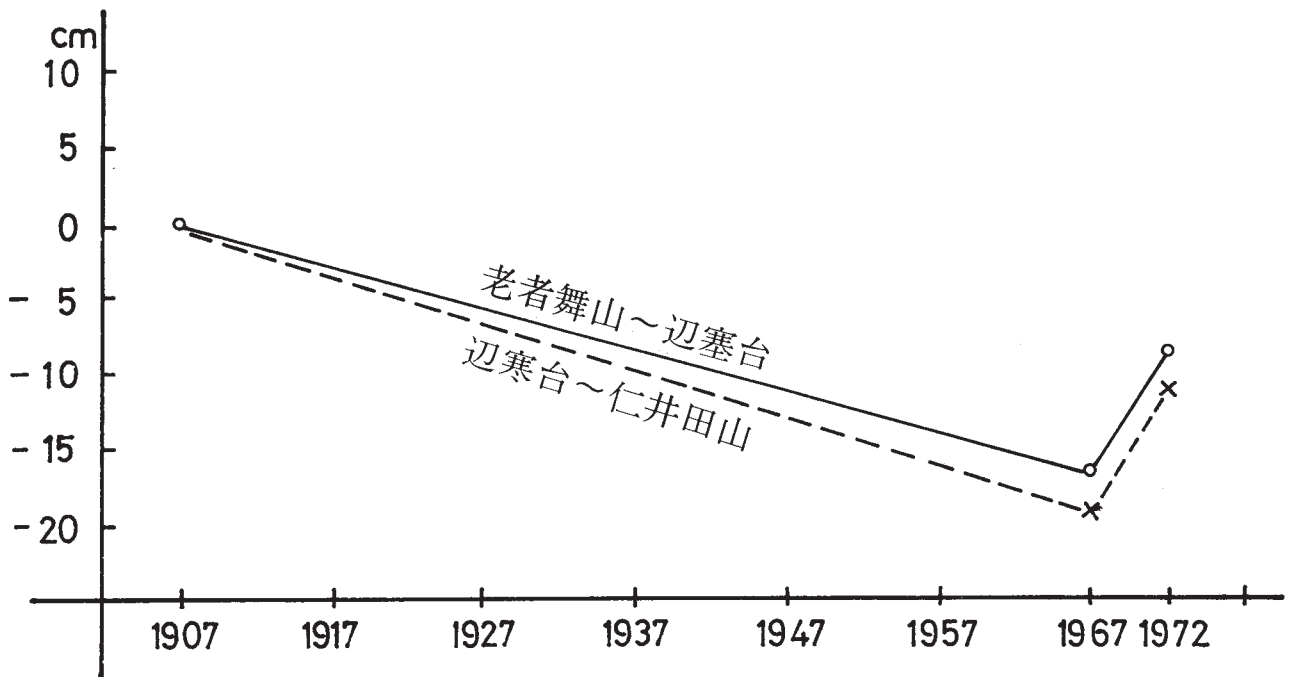
#### 参 考 文 献

- (1) 国土地理院・測地部，北海道東部および関東北陸地方のG.D.P.高精度トラバース測量，連絡会会報，9，6 - 2，1973



第1図 厚岸菱形基線の変動(1972年7月-1971年7月)

Fig. 1 Deformation of Akkeshi Rhombus(July, 1972-July, 1971)



第2図 老者舞山~辺塞台(40 km)および辺塞台~仁井田山(25 km)の辺長の時間的変化(この2辺の位置については本会報第9巻129ページを参照のこと)

Fig. 2 Changes of length concerning Oshamappuyama~Pekandai and Pekandai~Niidayama (Report of C.C.E.P., 9, 129, 1973 should be referred)